



海洋教育カリキュラム

2017年度版
(第2版)



Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

お茶の水女子大学

①東京都北区における教育課程特例校のカリキュラム

東京都北区教育委員会および東十条小学校、滝野川小学校、王子桜中学校の管理職と協議を重ね、以下の取り組み内容で「海育科」を設置しました。概略を以下に示します。

■教育課程の基準の特例の内容について

① 東十条小学校

- ・ 第4・5・6学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・ 第4学年では「海育科」に、「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。また、第5・6学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。

② 滝野川小学校

- ・ 第4・5・6学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・ 「海育科」を設置する全学年で、「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。
- ・ なお、第4・5・6学年における本格的な海育科の実施に備えて、第1・2・3学年、および特別支援学級においても、「海との出会い」分野の海洋教育を「生活科」、「学級活動」、「総合的な学習の時間」の一部の時間で実施しています。

③ 王子桜中学校

- ・ 第1・2学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・ 第1学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。また、第2学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、および「社会」の一部の時間を充てます。

■教育基本法及び学校教育法における教育の目標に関する規定との関係

「海育科」の趣旨は、①海に対する親しみ、理解、関心を深める、②私たちの生活が、歴史文化、科学技術の両面で海と深く関わっていることを理解する、③海洋環境とその保全について理解する、④持続的に海を利用し海と共に生きることが、社会の永続的発展に不可欠であることを理解する、以上の4つです。

新設教科「海育科」は、「海との出会い」「海の科学」「海の保全」「海の利用」の4分野で構成します。

「海との出会い」は、海の豊かな自然や海に関わりのある地域社会の中での様々な体験活動を通して海との出会いを体験し、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んで関わろうとする児童・生徒の育成に取り組みます。「海の科学」は、海の自然や資源、人との深い関わりについて関心を持ち、科学的な態度を持って進んで調べようとする児童・生

徒の育成に取り組みます。ここでいう科学的な態度とは、自然科学、社会科学および人文科学を含めた論理的および客観的に事象を捉えようとする態度のことです。「海の保全」は、海の環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的に関わろうとする児童・生徒の育成を図ります。「海の利用」は、水産物や資源、船舶を用いた人や物の輸送、また海を通じた世界の人々との結びつきについて理解し、それらを持続的に利用することの大切さを理解できる児童・生徒の育成を目指します。

これらの取組は、教育基本法第二条に掲げられる「幅広い知識と教養の習得」「豊かな情操と道徳心の涵養」「生命・自然の尊重」「環境の保全に寄与する態度」「伝統と文化の尊重」「我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重する態度」等の教育目的を踏まえています。また、海から離れた地域における海洋教育の実現は、教育基本法第三条に掲げられる「あらゆる場所において学習することができる社会の実現」を図るという理念を踏まえるものです。

■学習指導要領に定める内容事項が特別の教育課程において適切に取り扱われていること

新設教科「海育科」では、「理科」および「社会」の学習内容の一部を「海育科」の4分野（「海との出会い」、「海の科学」、「海の保全」、「海の利用」）に関連させて再構成し、海について体系的に学びます。また、これら4分野全てにおいて、「総合的な学習の時間」のねらいに合わせた主体的、創造的、協同的な活動を実施し、深く学びます。これらの取組により、「海育科」では、学習指導要領に定められた「理科」、「社会」、「総合的な学習の時間」の目標を逸脱することなく、特色ある教育課程を編成します。

次ページに3校の教育課程表を掲載します。

東十条小学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	外国語活動の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	68	68		102	34	34				850
第2学年	315		175		105	70	70		105	35	35				910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70			945
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	60 (-10)		10	980
第5学年	175	94 (-6)	175	98 (-6)		50	50	60	90	35	35	68 (-2)	35	14	980
第6学年	175	99 (-6)	175	99 (-6)		50	50	55	90	35	35	68 (-2)	35	14	980
合 計	1461	353 (-12)	1011	393 (-12)		358	358	115	597	209	209	266 (-14)	70	38	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年					0
第2学年					0
第3学年					0
第4学年	5	5	0	0	10
第5学年	4	4	3	3	14
第6学年	4	4	3	3	14

滝野川小学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	外国語活動の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	68	68		102	34	34				850
第2学年	315		175		105	70	70		105	35	35				910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70			945
第4学年	245	89 (-1)	175	104 (-1)		60	60		105	35	35	68 (-2)		4	980
第5学年	175	94 (-6)	175	98 (-6)		50	50	60	90	35	35	66 (-4)	35	16	980
第6学年	175	99 (-6)	175	99 (-6)		50	50	55	90	35	35	66 (-4)	35	16	980
合 計	1461	352 (-13)	1011	392 (-13)		358	358	115	597	209	209	270 (-10)	70	36	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年					0
第2学年					0
第3学年					0
第4学年	2	2	0	0	4
第5学年	4	4	4	4	16
第6学年	4	4	4	4	16

王子桜中学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語					
第1学年	140	99 (-6)	140	99 (-6)	45	45	105	70	140	35	35	45 (-5)	17 (+17)	1015
第2学年	140	99 (-6)	105	134 (-6)	35	35	105	70	140	35	35	70	12 (+12)	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70		1015
合 計	385	338 (-12)	385	373 (-12)	115	115	315	175	420	105	105	185 (-5)	29	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年	6	7	2	2	17
第2学年	4	4	2	2	12
第3学年	0	0	0	0	0

【年間指導計画（北区立東十条小学校）】

4年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い				与論島および与論島での生活の学習を通して海を知り海に親しみを持つ								
海の 科学				与論島および与論島での生活の学習を通して、海水、波、海の生き物の姿を学ぶ								
海の 保全												
海の 利用												

5年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い	日本の海や世界の海について学ぶ			岩井自然体験教室で海を体験し、楽しむ		地域の川が海につながることを学ぶ						
海の 科学		海に棲む生き物の発生、成長を学ぶ		岩井自然体験教室で海水、波、海の生物を学ぶ								
海の 保全			川の環境保全を通じた海の環境保全について学ぶ									
海の 利用			日本各地の海産物、地域の水産業について学ぶ							海水からの塩づくりを学ぶ		

6年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い	古代日本の 海との関わ りを学ぶ		海に棲む哺 乳類につい て学ぶ					日本の陸地が かつて海であっ たことを学ぶ				
海の 科学				海の生物の食 物連鎖を学ぶ			海の地形につ いて学ぶ					
海の 保全				「海の日」に ついて学ぶ						海を隔てた 周辺国につ いて学ぶ	下水処理施設 による海の環境 保全について 学ぶ	地球温暖化の 海への影響に ついて学ぶ
海の 利用	日本の歴史の中で海が重要な役割を果たしてきたこと、日本が古来より海洋立国であったことを学ぶ											

4年 海科 年間計画

北区立滝野川小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との出会い	地域の川が海と繋がっていることを学ぶ。					私達の生活が海と繋がっていることを学ぶ。	社会科見学で東京湾が荒川に流れ込む所を知る。	総合「岩井移動教室」岩井学園が海の近くにあることに気付く。			社会科「わたしたちの東京都」。 ・東京には大きな川が流れていることを知る。 ・東京の島には船で繋がっていることに気付く。	
海の科学	理科「理科のひろば」1年を通して、季節による海の変化を学ぶ。											
海の保全										理科「水はめぐる」 ・川や海の水が水蒸気から雲、雨へと循環していることを知る。		
海の利用						商品や工業製品の原材料が海外から運ばれてきていることに気付く。				社会科「香山士と荒川」・東京湾から荒川で行われていた舟運について知る。		

5年 海科 年間計画

北区立滝野川小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との出会い	日本の海や世界の海について学ぶ			岩井臨海学園で実際の海に親しみ磯の学習をする		地域の川が海につながることを学ぶ						
海の科学		海に棲む生き物の発生、成長を学ぶ										
海の保全			川の環境保全を通じた海の環境保全について学ぶ							自然環境との関わりについて学ぶ		
海の利用	領海について学ぶ		日本各地の海産物、地域の水産業について学ぶ							海水からの塩づくりを学ぶ		
	海運が日本の産業を支えていることを学ぶ											

6年 海科 年間計画

北区立滝野川小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い							読解教材を通して、海への関心を高める		日本の陸地がかつて海であったことを学ぶ			
海の 科学				海の生物の食物連鎖を学ぶ			海の地形について学ぶ	北区は昔海だったことについて学ぶ				
海の 保全				「海の日」について学ぶ						海を隔てた国々について学ぶ	下水処理施設による海の水質保全について学ぶ	地球温暖化の海への影響について学ぶ
海の 利用	日本の歴史の中で海が重要な役割を果たしてきたこと、日本が古来より海洋立国であったことを学ぶ											

【年間指導計画（北区立王子桜中学校）】

【平成28年度】

○海育科の年間指導計画（カリキュラム）の作成

・海育科の授業実践〔理科&社会…各数時間〕

①海育科(社会分野)の授業実践

…日本の周りの海～領海と海底資源（5月）

…大航海時代の幕開け（9月）

②海育科(理科分野)の授業実施

…混合物の分離～塩田、海水から真水（6月）

…海の生物－イカの身体づくり・解剖（10月）

…深海～気圧と水圧・深い海底での水圧（11月）

③海育科（総合学習）（岩井学園の事前指導、事後指導を通して）

○岩井臨海学園

・ライフセーバーの指導のもと、「海の楽しさ」「海の安全」を学ぶ
事前学習と事後学習を充実させる。カリキュラム作成

○科学部の活動

・都中理生徒研究発表会に向けた取組<海に関するテーマでの研究>

・水槽「海の楽園OS」の発展・拡充

○海洋教育アンケートの実施 「海」への興味関心度の検証

①社会科分野

ア 第1学年 指導内容及び評価計画（6時間扱い）

時	学習内容・学習活動	評価
	世界の海と島国	
1	・地球儀から陸地と海洋の面積を比較し、地図から島国と内陸国を見付ける。	・地図帳を使って島国と内陸国を理解し、それぞれ見付けることができる。
	日本列島の誕生と縄文時代の生活	
2	・海面の上昇による縄文時代の食生活を考え、貝塚の意義を理解する。	・海面の上昇の影響を説明することができる。 ・中里貝塚や飛鳥山博物館に関心をもっている。
	岩井臨海学園での学習	
3	・海で安全に楽しむには、命を守るには、どうするか学ぶ。	・ライフセービングの重要性を理解している。
	オセアニア州	
4	・日本とニュージーランドを比較し、相違点・類似点を挙げ海に囲まれていることの影響を理解する。	・海が日本とニュージーランドにどのような影響を与えたのか、考察している。
	鎌倉時代の元との交易	
5	・当時の状況を踏まえ、原因や対応、その後の影響について理解する。	・日本に対して、ヨーロッパや元がなぜ関心をもったのか、追求している。
	日本の海の範囲	
6	・領域と排他的経済水域について理解する。 ・日本における海の利用について調べ、理解する。	・日本の領域に関心をもって調べている。 ・排他的経済水域の意義を理解している。

イ 第2学年 指導内容及び評価計画（6時間扱い）

時	学習内容・学習活動	評価
	日本の海岸と海流	
1	・海岸の種類と利用のされ方を調べ、海溝と地震の震源地の分布を確認する。	・海岸の特色と利用のされ方を理解している。
	日本の漁業の特色	
2	・グラフから漁業形態の変化を読み取り、漁業の重点の変化を考察する。	・グラフから漁業形態の変化を読み取っている。 ・漁業の変化を理解している。
	北海道の漁業	
3	・グラフから水産物の変化を読み取り理由を考察し、漁業の変化を考察する。	・グラフから水産物の種類の変化を読み取ることができ、漁業の変化を理解している。
	大航海時代の幕開け	
4	・地図で航路を確認し、世界進出の影響について考察する。	・航路や植民地の状況を地図で確認し、新航路を開いた目的を考察している。
	江戸時代の水産業と海運業	
5	・地図で水産物と航路を確認し、輸送のための海運業の発達を考察する。	・各地の水産物と航路を確認し、海運業の発達を理解している。
	国境と領土の画定	
6	・領土を画定する意義を理解し、地図で日本の領有地を確認する。	・2つの条約の意義を理解している。 ・地図で日本の領有地を確認している。

②理科分野

ア 第1学年 指導内容及び評価計画（6時間扱い）

時	学習内容・学習活動	評価
1	海洋探検 ～海にはどのような環境があるのだろうか？～ ・海にはどのような環境があるかを理解する。	・海について興味・関心をもち、進んで環境について調べようとする。
	海辺と干潟 ～干潟にはどのような役割があるのだろうか？～ ・干潟には、生物群による水質浄化作用があることを理解する。	・水質浄化作用について理解している。
3	南の海 ～海藻とサンゴ礁 サンゴ礁にはどのような役割があるのだろうか？～ ・サンゴには、海水中の二酸化炭素とカルシウム分を吸着する作用があること、海の食物連鎖について理解する。	・サンゴの働きについて理解している。 ・海中の食物連鎖について理解している。
	海の水 ～塩水の塩分濃度が違うと浮力は変わるだろうか？～ ・塩分濃度によって浮力が変わることを、濃度が高いと浮力が大きくなることを理解する。	・塩分濃度によって浮力が変化することを理解している。
5	深海 ～水圧と浮力 深い海での圧力は？海洋探査船「ちきゅう」と深海探査船「しんかい6500」について～ ・水中では、10mあたりで1気圧（1013hPa）ずつ大きくなっていくこと、深海では、大きな力が加わっていることを理解する。	・水圧は深くなるにつれて大きくなることを理解している。
	海溝と海の隆起 ～ヒマラヤ山脈やアンデス山脈の頂上付近に海の生物の化石があるのはなぜだろうか？～ ・プレートの移動による造山活動でできた山脈は、海底が隆起してできていることを理解する。	・プレートの移動について理解している。 ・造山活動について理解している。

イ 第2学年 指導内容及び評価計画（6時間扱い）

時	学習内容・学習活動	評価
1	生物の体のつくり ～イカの体はどのようなつくりをしているか解剖して調べよう～ ・イカの体のつくりを他の生物と比較し、共通点と相違点を理解する。	・イカの体のつくりを他の動物と比較し理解している。
	熱水鉱床 ～深い海の中でも食物連鎖は行われているだろうか？～ ・海底でも熱水鉱床の好熱菌をベースとした食物連鎖が行われていることを理解する。	・日光の届かない深海でも食物連鎖が行われていることを理解している。
3	日本の海底資源 ～日本の海底には、どのような資源があるだろうか？～ ・日本の近海の海底には、オイル、メタンハイドレートやレアメタルの鉱床があることを理解する。	・日本の近海の海底には、海底資源があることを理解している。
	海風、陸風 ～海水温によって風向きは変わるだろうか？～ ・1日の中で陸と海水の温度で風向きが変化することを理解し、夏と冬では風向きが変わることを理解する。	・海と陸地の温まりやすさの違いから風が発生することを理解している。
5	水の循環 ～雨の水分はどこから来るのだろうか？～ ・海水が蒸発し、降水することを理解し、水が地球上で循環していることを理解する。	・水が地球上で循環していることを理解している。
	魚類の解剖 ～アジとアジ以外の魚で体のつくり共通点や相違点はあるだろうか？～ ・アジの体のつくりとアジ以外の魚類の体のつくりを比較し共通しているつくり、異なるつくりを観察から見いだす。	・魚の体つくりを比較し、共通点と相違点を見いだしている。

③総合的な学習の時間

【第1学年】

北区立中学校は、第1学年において「岩井臨海学園」における宿泊行事を実施している。日本ライフセービング協会の支援のもと、ライフセーバーから、海の楽しい面や危険な面、海で命を守るための対処などを学んでいる。

この体験をより充実するために「海育科」の4分野を生かし、指導に取り入れた。「岩井臨海学園」における宿泊行事実施前に3時間、実施後に2時間を設定している。

(ア) 海との出会い…岩井海岸の海を知る。(千葉県南房総市)

(位置、東京湾、砂浜と磯の生物の違い等)

(イ) 海の科学………引き潮、満ち潮が起こる理由、波の仕組み、離岸流を知る。

(ウ) ライフセービングプログラムの活動ビデオの視聴

…海の安全、命を守る活動を知る。

～岩井臨海学園宿泊行事(2泊3日)～

(エ) ライフセービングプログラム及びライフセーバー活動…人命尊重の精神と奉仕、社会貢献について理解する。

(オ) 海の利用、海の保全…岩井海岸での体験から、海の環境保全を考え、理解する。



②渋谷区立猿樂小学校のカリキュラム

総合的な学習の時間を利用した海洋教育実践

(平成29年4月～平成30年3月)

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導計画

平成30年3月3日

第5学年 児童38名

指導者 北村 大介

1 単元名

海洋博士への道

2 単元設定の理由

海洋教育は、「海を親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、さらに海と人との共生のため「海を利用」しながら、「海を守る」ことの大切さを学ぶものである。

我が国は四方が海に囲まれており、国土の面積は世界61位であるのに対して、排他的経済水域は世界6位の規模を誇っている。また、人口の約5割が沿岸部に居住し、動物性タンパク質の約4割を水産物から採取し、輸出入貨物の99%を海上輸送に依存している。海に依存し、海洋資源を海から得ている我が国では、海洋国家日本の繁栄を願い「海の日」を国民の祝日とした。また、平成19年には海洋基本法が定められた。同法28条においては、学校教育等において、海洋教育等の実施の必要性を述べている。

5年生での社会科の学習では、「世界の大陸と海洋」の学習において、世界の主な大陸や海洋と我が国の国土との位置関係を知り、また国土は4つの大きな島と多くの島でできていることを学ぶ。また、「水産物の盛んな地域」の学習では、我が国の水産業の様子について知り、最南端、最東端の島々があるおかげで広範囲に及ぶ排他的経済水域が維持でき、水産業に多くの影響を与えていることを学ぶ。

更に、海洋教育への課題をもち、追究学習を進めていくうえで、自分たちと海との理想の関係について考える。学習過程において、海の環境問題やその保全活動などについて理解し、自分達の生活を見つめ直し、海と共生していくためにできることを考え、海を大切にしようとする態度を育てることができるのではないかと考え、本単元を設定した。

3 単元目標

海洋教育について課題を設定し追究学習をしたり、海水魚を飼育したりする活動を通して、海の環境問題やその保全活動などについて考え、自分達の生活を見つめ直し、海と共生していくためにできることを考え、実践しようとする態度を育てる。

4 単元の評価規準

視点	観点	評価
学習方法に関すること	ア 課題設定 情報収集 整理分析 まとめ・表現	① 一年を見通した学習活動を構想し、課題を設定している。 ② 実際に育てたり、興味のある事柄についての疑問から課題を発見し、設定している。 ③ 人と関わる体験的な活動を通して協同して情報収集を行っている。 ④ 実際に見たり聞いたりする情報収集の大切さを知り、進んで情報収集をしている。 ⑤ 集めた情報の中から必要な情報を選択したり、比較したりして、よりよい解決方法を見つけている。 ⑥ 課題解決のために、様々な考えを比較・関連付けて考えている。 ⑦ 相手に応じて様々な表現方法でわかりやすくまとめ、表現している。
自分自身に関すること	イ 自己理解	① 目標やめあてを明確に設定し、課題解決に向けてどう情報収集したらよいかを考え、進んで行動している。 ② 理想の海の環境や自然保護の視点になって考えるなど、視点を持ち続け、それを実践しようとする。 ③ 自分の生活を見直し、自分のできることは何かを考えようとしている。
他者や社会に関すること	ウ コミュニケーション 他者理解	① 異なる意見や友達の考えも受け入れて話し合いを進め、自分の考えを広げようとしている。 ② 友達や海に関わる仕事をされている方のアドバイスを取り入れ、自分たちができることは何かを考えている。

5 単元の主な流れ（70時間）

学習過程	活動内容（時間数）	指導の工夫	評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> であう </div> 課題設定	「海洋教育への理解を深めよう」(8時間) (1) 1年間の学習の見通しをもち、課題を考えよう。(2時間) (2) 先輩たちが飼育していた魚を引き継ぐために、飼育の仕方を学ぼう。(2時間) (3) 主事さんから、水槽の清掃の仕方を学ぼう。(2時間) (4) 吉村先生から話を聞き、海洋教育への理解を深めよう。(2時間)	・メジナ等の入った水槽を見に行き、具体的な活動をイメージする。 ・昨年度からの海洋教育を引き継ぎ、児童の興味や関心を喚起させる。 ・清掃の仕方を主事さんより学び、実際に清掃活動を行う。 ・吉村先生から話を聞き、興味関心を喚起する。	アー1 アー2 アー3. 4 アー4

<p>課題設定 整理分析 情報収集</p> <p>深める</p>	<p>「魚探偵団 その1」(14時間)</p> <p>(5) 海洋教育に対する興味関心を喚起し、個人の追求学習の課題を設定する。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料など <p>(2) テーマを設定し、追究学習の計画をたてよう。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮭の遡上について ・深海魚の生態 ・魚の骨格について 等 <p>一人ひとりテーマ設定をしての追求学習。</p> <p>(4) わかったことを整理し、パンフレットにまとめよう。(8時間)</p> <p>(5) パンフレットを、お互いに読み合い、より理解を深めよう。(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味関心を持ち、継続して調べることができるように助言を行う。 ・インターネット等を活用して必要な情報の取捨選択を行う。 ・図書館司書教諭と連携し、図鑑などを用意してもらおう。 ・読む人にとって分かりやすいように、図や写真等を挿入し、レイアウトを工夫してまとめる。 ・作成したパンフレットを読み合い、相互評価をする。 	<p>イ-1</p> <p>ア-5 ア-6</p> <p>ア-7</p> <p>ウ-1. 2</p>
<p>課題設定 整理分析 情報収集</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>「魚探偵団 番外編」(3時間)</p> <p>(1) 「海の恵みをいただきます展」を見学し、魚や貝、海藻などについて理解を深めよう。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグロやアサリ、海藻などが人々の食卓に上がるまでにどのような生産過程を経ているのかを理解する。 ・魚、海藻、貝類への理解を深める。 ・質疑応答の時間を設けて、学んだことからの疑問点を質問し、理解を深める。 <p>(4) わかったことを感想文にて表そう。(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味関心を持ち、継続して調べることができるように助言を行う。 ・講師の先生から、企画の趣旨の説明を受けたり、児童からの質問に答えて頂いたりすることで興味関心を促す。 	<p>イ-1</p> <p>ウ-2</p> <p>ア-7</p>

<p>高める 課題設定</p> <p>整理分析 課題設定</p> <p>情報収集 整理分析</p>	<p>「魚探偵団その2 東京湾」(23時間)</p> <p>(1) 各自の追究学習を振り返り、川や海への繋がりを意識し、多摩川や東京湾に着目し、課題を設定しよう。(3時間)</p> <p>(2) テーマを設定し、追究学習の計画をたてよう。(3時間)</p> <p>(3) 課題に対する調べ学習をしよう。(12時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾について ・江戸前とは ・東京湾の外来種 ・東京湾の歴史 等 <p>(4) わかったことを整理し、パンフレットにまとめよう。(5時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをパンフレットにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育の幅広い視点から、川と海のつながりを意識させる。 ・児童にとって身近な東京湾について取り上げる。 ・KJ法的な手法で疑問を書き出し、類型化して課題を見いだす。 ・インターネットを活用して必要な情報の取捨選択を行う。 ・必要に応じて、外部の方への取材やゲストティーチャーを招く。 ・図書館司書教諭と連携し、図鑑などを用意してもらう。 ・パンフレット形式でまとめ、発表に備える。 	<p>イ-1</p> <p>イ-3</p> <p>ウ-3</p> <p>ウ-1</p>
<p>広める 課題設定</p> <p>整理分析 まとめ表現</p>	<p>「広げよう！ 魚探偵団」(15時間)</p> <p>(1) グループごとに発表の計画を立てて、準備しよう。(1時間)</p> <p>(2) パワーポイントの使い方を理解しよう。(3時間)</p> <p>(3) パワーポイントを用いて、海洋教育の学習成果を発表するためにスライドを作成し、作成したものを発表しよう。(11時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがどのような思いで取り組んできたのかを伝えることができるようなプレゼンテーションの仕方を考える。 ・パワーポイントの使い方を知ろう。 ・わかりやすいプレゼンテーションを目指し、パワーポイントでプレゼンテーションの資料を作成する。 	<p>イ-2</p> <p>ウ-1</p>

<p>振り返り 整理分析</p>	<p>「魚探偵団 終章」 (7時間)</p> <p>(1) 魚や海の生物を育てたことを通して学んだことをふり返ろう。(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と海との共生について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海の生物の視点になって考えてきたことはこれからの生活に大いに役立つことに気付くことができるようにする。 	<p>イ-2</p>
<p>まとめ・表現</p>	<p>(2) 作文を書いて学習をふり返ろう。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった先生に感謝の気持ちを持ち作文を書く。 <p>(3) 水族館などの海洋施設へ行き、1年間の学習を振り返る。(2時間)</p>		<p>イ-2</p> <p>イ-3</p>

③館山市立西岬小学校のカリキュラム

H29年 海洋教育单元一覧・海洋 (総合、生活科、図工、理科)

海洋教育单元一覧

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全校				海辺の集会 (原活)							
1年			夏と遊ぼう (生活)	三校交流会 (生活)	貝殻ストラップ作り (生活)						
2年			夏とあそぼう (生活)	三校交流 (生活)	貝殻ストラップ作り (生活)						
3年	西岬のお宝さがし～天草～ (総合)	西岬のお宝さがし～天草～天草祭り (総合)	西岬のお宝さがし～天草～天草祭り (総合)	西岬のお宝さがし～天草～ところてんづくり (総合)	シーグラス (図工)						
4年	海の生き物研究所 (総合)			宿泊学習「海の探検隊」(総合)	※形や色を楽しもう (図工)						
5年		西岬の漁業について調べよう (総合)	ウニの愛着 (理科)	水産業の盛んな地域 (社会) 台風と気象 (理科) シーグラス (図工) 宿泊学習「海の探検隊」(総合)		雲と天気の変化 (理科)			ものの掛け方(理科) ※ポケットリニの飼育		
6年	※ウニの飼育(総合)		ウニの解剖 (理科)	シーグラス (図工)		※ゆめ仕事びつたり体験 (総合)	郷土料理を調べよう (総合)	郷土料理を調べよう (総合)			

海洋教育単元一覧

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全校				海辺の集会 (宿泊)							
1年			夏と遊ぼう (生活) 水遊び (体育)	三校交流会 (生活) 水遊び (体育) 「うみ」 (音楽)	貝殻ストラップ作り (生活)				日本の歌「大波小波」 (音楽)		
2年			夏とあそぼう (生活) 水遊び (体育)	三校交流 (生活)	貝殻ストラップ作り (生活)						
3年	西師のお宝さがし 水草 (総合)	海風きって (音楽)	西師のお宝さがし 水草 (総合) 浮く・泳ぐ (体育)	西師のお宝さがし 水草 (総合) 浮く・泳ぐ (体育)	シーグラス (園工)						
4年	海の生き物研究所 (総合)		浮く・泳ぐ (体育)	浮く・泳ぐ (体育)	※形や色を染しもう (園工) 4・5年宿泊学習 (総合)						水のゆくえ (理科) 魚大好きさかなクン (道徳)
5年	西師の地形と特色 (社会)	西師の港業について (総合) メダカの育ち方 (理科)	わが町ベスト3を決めよう (国語) 水泳 (体育) ウニの変遷 (理科)	水産業の盛んな地域 (社会) 台風と気象 (理科) 水泳 (体育) シーグラス (園工)	4・5年宿泊学習 (総合)	雲と天気の変化 (理科)			ものの掛け方 (理科) ※ボケットウニの飼育	環境を守る私たち (社会)	
6年	※ウニの飼育 (総合)		水泳 (体育) ウニの解剖 (理科)	水泳 (体育) さとみ物語 (社会) シーグラス (園工)		※ゆめ仕事びったり体験 (総合)	郷土料理を調べよう (総合)	郷土料理を調べよう (総合)			自然とともに生きる (理科)